

熊本中央病院を受診された患者さま、研究対象者のみなさまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

以下の臨床研究に関しては、個人情報情報を匿名化した上で学会、研究会等への利用をさせていただいております。

内容をご確認いただき、研究対象者となることを希望されない方は下記お問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	急性大動脈解離における術後脳梗塞の病態とリスク因子の検討 後ろ向き観察研究
研究責任者	麻酔科 大吉 貴文
本研究の目的・意義	急性A型大動脈解離(ATAAD)の外科治療において、術後脳梗塞は予後を左右する重篤な合併症です。その発症には、患者の基礎疾患や術前・術中の低血圧状態に加え、送血部位や脳保護法などの手術手技といった多因子が複雑に関与しており、詳細な発症機序はいまだ完全には解明されていません。これまで危険因子の報告は散見されるが、実際の脳梗塞の病態(発生部位や梗塞範囲)に焦点を当てて検討した研究はほとんどありません。術後脳梗塞の部位や範囲に関する詳細な情報を明らかにすることは、複雑な発症機序を解明するための一助になると考えられます。本研究は、ATAAD術後症例の後ろ向き解析を通じて脳梗塞の病態を詳らかにし、効果的な予防戦略の確立を目指します
研究予定期間	委員会承認後～2028年 3月31日
該当資料・データ	研究の方法 2012年1月1日～2026年4月31日の期間に緊急または準緊急でおこなった大動脈解離手術症例です。除外基準は開心術に至らなかった症例、ステントグラフト内挿術症例、StanfordB型解離で上行弓部置換術を行わなかった症例です。 上記の条件に当てはまる症例を研究対象者として登録し、以下の診療情報を麻酔記録システムおよび診療記録から必要なデータを取得します。データを解析し、術後脳梗塞の部位や範囲、リスク因子を検討します。
個人情報の取扱い	診療録から得られたデータから、氏名、生年月日、手術日など個人を識別可能な情報を削除し、個人情報とは無関係の番号をつけ、研究機関毎に連結可能匿名化を行います。 個人識別情報と付加番号の対応表は研究機関毎に作成し、各機関の個人情報管理者が厳重に管理し、共同研究機関並びに解析担当者には渡しません。データ解析の際は、匿名化後のデータのみを扱うため、個人を特定できる情報は含みません。研究の成果を学会、誌上に公開する際も個人を特定できる形では公表しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話:096-370-3111(代表) 担当者:大吉 貴文 (麻酔科)